

平成29年1月25日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 平成29年1月25日(水)
午後1時30分
- 2 閉会の日時 平成29年1月25日(水)
午後2時20分
- 3 招集の場所 福知山市役所6階 601会議室
- 4 出席委員の氏名 端野 学
倉橋 徳彦
塩見 佳扶子
和田 大顕
大槻 豊子
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 田中 悟
教育委員会事務局理事 中川 清人
次長兼教育総務課長 芦田 誠
次長兼学校教育課長 眞下 誠
学校教育課参事 土家 邦子
学校教育課総括指導主事 西山 直樹
学校給食センター所長 小林 隆則
次長兼生涯学習課長 崎山 正人
中央公民館長 佐々木 和美
図書館中央館長 吉田 和彦
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
次長兼教育総務課長 芦田 誠
- 7 議事及び議題
別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

議第18号 原案どおり可決、承認

議第19号 原案どおり可決、承認

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長.....

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

教育委員会会議録調製者 教育部長.....

教育委員会会議録

1 開会

端野教育長が開会を宣告。

端野教育長 傍聴人から傍聴の申請があります。
許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 許可をさせていただきます。

2 前回会議録の承認

12月に開催しました教育委員会会議録について、出席委員全員異議なく承認されました。

3 教育長報告の要旨

端野教育長から以下の報告がありました。

(1) 年頭の教育委員会部課長会議において3点お願いしました。

①明確な現状認識をすることでの的確な方策を

新しい年を迎えると同時に年度末を迎える時期になりましたので、本年度の状況確認をしっかりといただき、次年度の準備をする大事な時期であることをお願いしました。

②教育委員会事務局職員、学校・園教職員の異動時期への対応

人事異動の時期になりましたので、空白ができないようスムーズな引継ぎをしていただくようお願いしました。

③「三ための教育」＝「自分と他者、社会を大切に作る心を持った人を育て、日本さらには世界に貢献できる人間を育てる。」ための各教育機関における連携を十分に
福知山市の教育目標を再度確認していただきました。

(2) 京都府学力診断テスト 中学2年生

(市町・組合立 93校、府立高附属中 3校)の結果

京都府学力診断テスト中学2年生の結果については、前回、1年間の学力診断テスト結果の平均正答率等のお話をさせていただきましたが、中学2年生のその後について資料ができましたので、福知山市の状況について3点報告いたします。

①国語はわずかに下回りましたが、数学、英語の平均正答率は府平均を上回りました。

②問題別にみますと「活用問題」については、国語、数学で平均正答率を下回る状況です。

③市立中学校は9校ありますが、ワースト3は、これまでの経過から若干入れ替わりはありますが、学校が特定されています。

参考までに問題を資料として添付しています。正答率ワースト1は資料4ページ国語一が14%、資料5ページ数学21が19.6%、資料9ページ英語3の2が19.6%です。

正答率ベスト1は資料7ページ数学16の93.3%、資料9ページ英語1の1の92.1%となりました。問題の質・中身等ありますが、この問題が良かった悪かったという報告を付け加えさせていただきます。

(3) 次期学習指導要領答申について

2016年12月21日に行われた中央教育審議会(第109回)において、2020年から始まる予定の次期学習指導要領の答申が、中教審北山禎介会長から松野博一文部科学大臣に手渡されました。

審議のまとめのポイントを資料として添付しています。資料10ページを御覧ください。幼小中それぞれ話題になっていることがポイントとしてあがっております。アンダーラインがある部分や太字になっているところが非常に話題になっている部分になります。

- ・「社会に開かれた教育課程」を実現
学校教育と社会の関係をより一層強め、よりよい学校教育を通じでよりよい社会を創るということです。
- ・「何を学ぶか」という指導内容の見直しに加えて「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点が強調されています。
- ・「アクティブ・ラーニング」について、本市の来年度の学校教育の重点には「アクティブ・ラーニング」という表現ではなくて「主体的・対話的で深い学び」に変えています。その中身が①学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結びつけていく「主体的な学び」②多様な人との対話や先人の考え方(書物等)で考え広げる「対話的な学び」③各教科等で習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見・解決したり、自己の考え方を形成し表したり、思いを基に構想・想像したりする「深い学び」の3点になり、能動的な学びに変えていくということであります。
- ・学習指導要領の基本原則を示す「総則」を抜本的に改善し、分かりやすく整理するという事です。
- ・幼児教育について、学校教育の重点にも記していますが、5歳児終了時までには育てほしい具体的な姿を明確にし、幼稚園教育要領と保育所保育指針の違いはありますが整合性を図ったなかで、幼児教育全体としての質を確保・向上していくということでもあります。
- ・小学校について、本市では既に取り組んでいますが、低学年、中学年、高学年6年間の幅の広い期間ですので、幼小中の発達段階に応じた資質・能力の在り方や指導上の配慮を十分考えるということ、スタートカリキュラム等を通じた保幼小連携を進めること、義務教育9年間を通じた資質・能力の育成を図ることが、シームレス学園構想の柱の部分です。特に言語能力の育成は極めて重要であるということです。
外国語教育について、現在、高学年で週1時間外国語活動があるわけですが、今後については、中学年にそれがおり、高学年は外国語科英語の授業が始まります。聞くこと、話すことだけでなく読むこと、書くことが加わり、授業時数については、資料19ページの改定案にありますとおり、3、4学年に外国語活動35時間、5、6学年に外国語(英語)が70時間となり、合計授業時数が35時間増加します。指導内容や授業時数を削減するという選択肢をとることは困難でありますので、地域や学校の実情に応じて組み合わせながら柔軟な時間割編成を可能としていくことが必要となります。週程表を検討する中でどのような形になるかは今後の課題であります。
- ・中学校について、義務教育9年間を通じた資質・能力の育成を図ることとあ

ります。部活動については、現行学習指導要領における位置づけを維持しつつとあり、現行の学習指導要領総則の中で「部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として教育課程との関連が図られるよう留意すること」と記されています。その位置づけを維持しつつということですので、教員の負担軽減の観点を考慮し、関係教科等と関連づけた主体的・対話的で深い学びを実現する視点が重要となります。また、人間関係の構築や自己肯定感の向上等は、部活動の充実の中だけで図られるのではなく、学校教育活動全体の中で達成されるべきであるということで、特に、部活動について記されています。

以上が具体的な方向性としてのポイント部分となります。

(4) こだま教育「教育のまち 福知山」

- ・【「教育のまち 福知山」という言葉は、昭和50年代のはじめ、本市教育委員会が展開した「こだま教育運動」の中で生まれた。この運動は、家庭、地域社会がそれぞれの役割・責任を自覚し、互いに高まりあおうとする心がこだましあって教育を尊ぶ気風のあるまちの創出を目指したもので、「響育（共育）運動」といえるものであった。今もその精神は生きており、教育によって学んだことを自分の幸せや夢の実現のため（自己実現）に生かすだけでなく、人のため（他者貢献）に、社会のため（社会貢献）に生かそうとする志をもった市民が育つまち、そんな市民を育てようとする気風のあるまちが「教育のまち 福知山」である。】ということで、学校教育、社会教育の重点の表紙に「教育のまち 福知山」の起こりの部分を記しています。

平成29年2月23日(木)午後4時から研究員の報告会と研究協議の会議が開催されますのでお知らせするものです。

こだま教育運動は、昭和39年に文部省（現文部科学省）の支援を得て、各小学校区で実施された家庭教育学級が始まりであります。

①こだま教育学級の推進

私が20代のころ、こだま教育学級の開催にあたり、保護者や地域の方々にお話しをする先輩方がおられました。

②掲示教育による啓発

市内358箇所の街角黒板で、356人のこだま教育推進員（掲示員）の掲示教育による啓発が実施されています。

③諸機関誌発行

以上3点の事業が取組まれており現在まで引き継がれています。

資料25ページに、平成28年度こだま教育研究員名簿があります。15名の先生方にこだま教育研究員として活動していただいております。資料26ページからは街角黒板の掲示文になります。

(5) 第66回社会を明るくする運動 京都府作文コンテスト 入賞者

- ・社会を明るくする運動 京都府推進委員会委員長（京都府知事）賞
「人と生きていくために大事な五つのこと」 中六人部小学校5年生
- ・京都府教育委員会教育長賞
「小さな声かけや行動から犯罪は消える」 南陵中学校1年生
- ・京都府保護観察所長賞
「安全な地域社会づくり」 六人部中学校3年生

各学校に依頼され、3名の児童生徒の作文が非常に良かったということで入賞したものであります。

「京都府人権作文」や「中学生の小論文コンテスト」に引き続き優秀な結果がありました。
中学生の小論文コンテストが始まったのがついこの間なのですが、ある程度の自習でもって、自分の考えをしっかりと表現できるというねらいを実現するための策でありました。一定の文字数で自分の考えや思いを表現することが、3回のコンテストにおきまして成果が表れましたので紹介をさせていただきました。以上5点報告しましたが、御質問、御意見はありませんか。

全委員 特になし。

端野教育長 それでは、次に議題に入ります。

4 議事

(1) 議第18号 (平成29年度学校教育の重点について)
端野教育長 「平成29年度学校教育の重点について」説明をお願いします。

西山総括指導主事 ～資料に基づき説明～
「平成29年度学校教育の重点について」お手元の資料に基づき説明をいたします。
前回の教育委員会議で御指摘いただいたことを中心に説明いたします。まず、写真についてですが、子どもたちの活動の様子、内容がよくわかるよう説明を入れました。シームレス学園構想の小5・6・中1の上の写真が、特別支援学級の写真ではないかという御指摘を受けまして、子どもの活動の様子がわかるような写真に差替えました。「一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育の推進」の3つ目『特別支援コーディネーター』を『特別支援教育コーディネーター』に訂正しました。「魅力ある学校・園づくりと教職員の資質能力の向上」の4つ目『学び』を『まなび』に訂正しました。また、文字の大きさを見やすいよう体裁を整えました。社会教育の重点と整合性を取り『めざす』につきましては、漢字表記にしました。全体を通しまして、次期の学習指導要領、さまざまなテスト等をみながら、積極的に対応していくため、次年度は、学校現場及び教育関係に徹底するようにしていきたいと思っております。配布先につきましては、別添資料のとおりでございます。

端野教育長 御質問、御意見はありませんか。

和田委員 シームレス学園構想の幼児期の学びの基礎の2行目『伝えようとしたりする。』は『伝えようとする。』ではなく『伝えようとしたりする。』なのでしょうか。
「魅力ある学校・園づくりと教職員の資質能力の向上」の1つ目『ラインによる指導』の『ライン』というのは先生方に通用する言葉ですか。
「平成29年度の重点項目」の1つ目『基盤とした』は『基盤として』ではなく『基盤とした』なのでしょうか。
4つ目『図書館機能』は学校図書館ではなく、図書館中央館を指していますか。
2月23日の校園長会で重点を配布して、日程的に各学校で作成さ

れる教育目標、経営方針、重点努力目標に反映できるのですか。

西山総括指導主事

シームレス学園構想の幼児期の学びの基礎の2行目は『伝えようとしたりする。』です。「魅力ある学校・園づくりと教職員の資質能力の向上」の『ライン』という言葉ですが、学校でのラインということで先生方に通用します。「平成29年度の重点項目」の1つ目は『基盤とした』です。『図書館機能』は学校だけでなく、図書館中央館を含めたすべての図書館機能を持っているところを指しています。学校では足りないものを図書館中央館と連携し充実させ、各学校の司書教諭と、図書館との専門的な連携を図ります。2月23日の校園長会で、重点を配布し徹底いたします。校長は、学校教育の課題をふまえて次年度の学校経営目標をたてていきますので、日程的には間に合います。
御指摘いただきました内容をふまえながら、指導していきたいと思えます。

端野教育長

他に御質問はありますか。

全委員

特になし。

端野教育長

若干、訂正等あるかもしれませんが、事務局に一任いただくということで、議第18号について議決させていただきます。

全委員

異議なし。

端野教育長

それでは、異議がないので可決承認いたします。
次に、議第19号「平成29年度社会教育の重点について」説明をお願いします。

(2) 議第19号 (平成29年度社会教育の重点について)

崎山次長兼生涯学習課長

～資料に基づき説明～

「平成29年度社会教育の重点について」お手元の資料に基づき説明をいたします。

前回の教育委員会議で御指摘いただきました点をふまえて、訂正しております。基本的なところは大きな変更はなかったかと思うのですが『めざす』を漢字表記にするということで訂正をしました。社会教育で取り組む重点的な事業として、模式図の中学校の欄に『地域未来塾』を加えました。配布先につきましては、別添資料のとおりでございます。公民館長・主事さんにお配りし内容を御理解いただき、来年度の活動に活かしていただけるようお願いしていきたいと思っております。また、校園長会でもお配りし、学校等でも御協力いただけるよう説明をいたします。

端野教育長

御質問、御意見はありませんか。

和田委員

「家庭・地域社会の教育力の向上」1. 家庭教育の推進の3つ目『プラスワン運動』とは何をされようとしているのか。

2. 青少年健全育成の推進の4つ目『若者を巻き込んだ成人式などの運営』は何をどのように目指しておられるのか。

3. 地域社会の教育力向上を目指す活動の5つ目『災害を教訓にした地域の共助の取組』とありますが、どういうことを想定されていますか。

崎山次長兼生涯学習課長

『プラスワン運動』は読書習慣のことで、読書を通じて考える力を養うということでございます。『若者を巻き込んだ成人式などの運営』は高校生や大学生が、行事に参加することが社会へ貢献することに繋がっていくと思っております。具体的な展開は難しいですが、地道に続けていく必要があると考えております。『災害を教訓にした地域の共助の取組』は公民館や自治会活動の中で、災害に備えどういったことをしていくのか、助け合いができるのかは、地域社会を維持していくためには必要なことです。そういったことを公民館活動の中で取組み、必須の学習項目にもなっておりますし、公民館の存在意義も光ってくると思います。現実社会での現代的な課題の取組みではないかと考えています。

和田委員

学校教育の重点項目の図書館機能充実のところで、司書教諭との連携があげられましたが、社会教育の重点項目の9つ目に司書教諭との連携を挿入していただけたらと思います。

崎山次長兼生涯学習課長

「生涯学習社会の実現」3. 図書館活動の推進の3つ目に『関係機関・関係団体と連携・協力し』と連携についてはここに記しています。重点項目の書きぶりについては、整合性のある文書ができればと思いますが、検討したいと思います。

端野教育長

他に御質問はありますか。

塩見委員

配布先について、50%以上が学校関係になっています。以前から家庭教育の教育力の低下が言われています。改めて、学校、家庭、地域のそれぞれの役割を再認識し、連携して子どもたちの健やかな育成をしていくことに焦点があてられています。公民館に配布とありますが、地域で子どもたちを支えていただく、また、社会教育の礎を充実していただける地域の方々、自治会等に配布し、福知山市の社会教育について啓発していくことも大事ではないかと思っております。

崎山次長兼生涯学習課長

部数が限られていますので、今回は難しいですが効果的な配布を検討したいと思っております。

端野教育長

他に御質問はありますか。

倉橋委員

P T A役員に配布があってもよいのではないかと思いますので、検討してください。

端野教育長 他に御質問はありますか。

全委員 特になし。

端野教育長 若干、訂正等あるかもしれませんが、事務局に一任いただくということで、議第19号について議決させていただきます。

全委員 異議なし。

端野教育長 それでは、異議がないので可決承認いたします。
次に報告・説明事項の教育長後援承認事項について説明をお願いします。

5 教育委員会 報告・説明事項について

(1) 教育長後援承認事項について

由里教育総務課長補佐兼企画管理係長 ～資料に基づき報告～

No.76 第8回福知山市「未成年の主張」弁論大会

No.77 華道家元池坊福知山支部花展米寿お祝・門標拝受披露

No.78 福知山東ライオンズクラブ杯第25回日本海高校ソフトテニス大会

No.79 第1回小学生五色百人一首福知山大会

端野教育長 後援承認について、御質問や御意見がありましたらお願いします。

和田委員 福知山東ライオンズクラブ杯第25回日本海高校ソフトテニス大会ですが、福知山市内の高校の参加実績はありますか。
第1回小学生五色百人一首福知山大会について、事業名が小学生となっていますが、参加対象者は小中学生及び高校生とあります。これは、ネーミングと参加対象者が違うということでしょうか。

崎山次長兼生涯学習課長

ソフトテニス大会については、福知山市内の高校の参加はあると思いますが、具体的には把握しておりません。小学生五色百人一首福知山大会については、小学生は第1回大会、中高生はプレ大会になります。次回は、小学生は第2回になりますし、中高生は第1回大会となります。

端野教育長 他に御質問はありますか。

塩見委員 華道家元池坊福知山支部花展米寿お祝・門標拝受披露について、10回以上の後援をなされていますし、申請内容を見ますといろいろなところの花展となっていますので良いと思いますが、今回だけ米寿お祝・門標拝受披露の冠がついているのでしょうか。個人の方の米寿のお祝いという雰囲気でしたのですが。

崎山次長兼生涯学習課長

門標拝受披露は毎年されていると思いますが、米寿お祝は今回だけのものかもしれません。毎年、花展はされていますので、会員の方の記念になる何かを合わせてされていると思います。

塩見委員 個人の雰囲気の色濃い感じがしましたので、少し懸念をしました。

端野教育長 他に御質問はありますか。

全委員 特になし。

端野教育長 承認いただいているということで、事後承認とさせていただきます。

6 閉会

端野教育長が閉会を宣言。